

事業報告書

1. 事業名
遺伝子組換え実験安全研修会
2. 事業目的
文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。
3. 開催日程及び場所
令和元年 7月 13日（土）12時 30分～16時 30分
東京大学弥生講堂一条ホール
4. 主催等
主催 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
共催 国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
後援 文部科学省
5. 参加機関
国立大学法人 37校、私立大学 26校、
国立研究開発法人・公益財団法人等 13機関、
民間研究所等 26機関
合計 102機関 参加者合計 172名
6. 事業概要
プログラムに従い、まず文部科学省ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 廣谷 龍輔氏によるカルタヘナ法の説明が行われた。続いて、金沢大学 西内 巧氏より組換えキノコ・カビ・コケの拡散防止措置の例に関し解説が行われた。その後のセッションでは、ゲノム編集生物の取扱いについて、広島大学 山本 卓氏をはじめ、環境省、文部科学省、経済産業省、農林水産省、厚生労働省より説明があり、総合討論も含めて今後使用者に求められる対応に関し理解を深めた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日のスナップ写真



第11回 遺伝子組換え実験安全研修会

いよいよ決まった ゲノム編集のルール

2019. 7. 13 12:30-16:30
東京大学 弥生講堂 一条ホール

- カルタヘナ法について
- 遺伝子組換えカビ・キノコ・コケの拡散防止措置の例
- ゲノム編集生物の取扱い

講演者 金沢大学 西内 巧 氏
広島大学 山本 卓 氏
環境省、文部科学省、農林水産省、厚生労働省、経済産業省 ほか

参加申込み
大学遺伝子協のWEBサイトで受付
締切 2019年6月28日 (金)
<https://www.idenshikyo.jp/>

お問合せ 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 事務局
E-mail aapps@knd.biglobe.ne.jp

主催 全国大学等遺伝子施設連絡協議会 共催 国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 後援 文部科学省

安全研修会の様子

